

キセワタ	<i>Leonurus macranthus</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		シソ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	茎は直立し、四角で高さ60-100cmになる多年草。葉は卵形～狭卵形、洋紙質で粗い毛がある。花期は8-9月。上部の葉腋に、紅紫色で長さ25-30mmの唇形花を数個ずつつける。	
生態的特徴	山や丘陵の草地に生える。	
分布状況	北海道～九州、中国に分布する。県内では県北・県南の数ヶ所に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県内の数ヶ所に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良